

## ◇ 積算委員会活動状況 ◇

積算委員会

### 全地連積算委員会 全国会議

去る、9月18日及び9月25日の両日、全地連会議室に於いて、地質編と工事編の全国会議が開催され、東北支部積算委員より、地質編について団副委員長、工事編については、山本委員長が出席いたしました。

二つの会議について、簡単に御報告いたします。

まず、地質編について、平成5年度基準日額人件費及び日当宿泊費を賃金実態調査にもとづき、前年比5%アップとした。(1日7時間 月21日 隔週土休)

### 各発注機関の価格動向、建設省歩掛りの浸透状況

建設省 昨年のコンサル業務費の計上に伴う大巾改正、本年度の仮設、小運搬現場透水試験の改訂で20~25%程度のアップと思われる。

営繕については、5~6年度に改訂の予定。

運輸省 本年4月より海上仮設の運用を主として、かなり改善された。

道路公団 本年4月より、仕様書の改訂に伴い、技術コンサル業務の比重の増加で25~35%のアップ

民間 工事量の減少に伴い価格低下が見受けられる。

### コンサルタント的業務の浸透状況

コンサルタント的業務費を計上したのは、『信頼できる業界』が前提条件になっている。報告書のマニアル化を全地連で努力し業界全体の評価アップにつながる。

### 東北支部より報告

東北各県の土木事務所は大体に於て採用されている、但し、一部の県における発注物件において、コンサルタント的業務費がカットされる場合があったが、9月からの事務所発注の限度額が改正されたので今後の経過をみる。

8月27日の東北地建の懇談会で、技術連絡協議会を通じて地方自治体の浸透を要望致し

ました。

次に、工事編については、

平成5年度歩掛り改訂版の編集についての会議でした。

改訂案として

★総則編では

基準人件費のアップ 共通仮設費は率計算で表示 機械機具損料表の添付

リースによる機械機具の掲示

★共通仮設編では

モノレール仮設の採用 営繕費に土地建物の借り上げ費の追加

★グラウト工事

グラウチングの工事例（実数で直接表現）

★大孔径工事編

溶接技術検定の新設 排泥処理工の改訂

★集水井工事編

現場写真管理の新設 集水ボーリングの追加 集水保孔管開孔率の新設

★アンカー工法

ロータリー式ボーリングの地層別標準歩掛け

以上、詳細部につきましては、これから検討課題として、委員会で煮詰めます。

今後の、スケジュールと致しましては、2月中旬に製本が出来上がりますので3月初旬には、皆様の、御手元に無料配布の予定です。

ちなみに、工事編の購入価格は3,000円価格調査表300円になります。調査編は従来通り2,000円と200円です。

積算資料説明会について

例年実施している、積算資料説明会は、来春の3月上旬に開催予定です。

開催地は福島県と宮城県ですので、今から準備にはいります。

今回は工事編の改正や、宮城県の開催で出席者も多くなると思いますので、皆様の御協力を仰がねばなりません。その節は、よろしくお願ひいたします。